



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年8月7日

上場会社名 大伸化学株式会社

上場取引所 東

コード番号 4629 URL <http://www.daishin-chemical.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉浦 久毅

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 山口 利美

TEL 03-3432-5872

四半期報告書提出予定日 平成30年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	7,175	12.4	120	53.0	133	50.0	89	45.8
30年3月期第1四半期	6,382	7.4	255	44.4	266	42.8	164	46.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	19.52	
30年3月期第1四半期	36.08	36.04

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	20,343	11,483	56.5
30年3月期	19,741	11,530	58.4

(参考)自己資本 31年3月期第1四半期 11,483百万円 30年3月期 11,530百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		30.00	30.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		0.00		30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年 3月期の業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,037	8.4	693	6.8	700	7.6	470	4.5	102.73
通期	28,200	5.9	1,391	23.0	1,400	21.1	941	24.3	205.67

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、6ページ「2.四半期財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	4,592,000 株	30年3月期	4,592,000 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	16,719 株	30年3月期	16,719 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	4,575,281 株	30年3月期1Q	4,567,281 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報をもとに行った見込であり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や設備投資の増加により、景気は緩やかな回復基調に推移いたしました。米中貿易摩擦の経済動向及び中東地域における地政学リスクの高まりなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社が主として関連する塗料業界におきましては、こうした経済環境のもと、出荷数量は前年並みの水準となりました。

このような情勢のもとで、当社における当第1四半期累計期間の製品出荷数量は、41,088トン(前年同期比2.5%増)となりました。

当第1四半期累計期間の業績といたしましては、売上高は新規需要開拓等により製品及び商品の出荷数量が増加したことや、国内の原油・ナフサ市況が前年に比べて高水準で推移したことにより販売単価が上昇したため、71億7500万円(同12.4%増)と増収となりました。

主な品目別の売上高は、ラッカーシンナー類が1億6900万円(同4.0%減)、合成樹脂塗料用シンナー類が1億4300万円(同4.2%減)、洗浄用シンナー類が4億2100万円(同1.6%減)、印刷用溶剤類が12億5000万円(同11.7%増)、特殊シンナー類が7億4800万円(同8.5%増)、単一溶剤類が32億2300万円(同19.0%増)、塗料・その他が3億6000万円(同9.7%増)、単一溶剤を中心とした商品が8億5700万円(同9.8%増)となりました。

一方損益面では、効率的な原材料購入の推進及び新規需要の開拓等に努めましたが、前年と比較して原油・ナフサ市況が高水準で推移したことが原材料コストの増加要因となり、営業利益1億2000万円(同53.0%減)、経常利益1億3300万円(同50.0%減)、四半期純利益8900万円(同45.8%減)と、いずれも減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、203億4300万円(前事業年度末比6億1000万円増)となりました。これは主に、現金及び預金の増加(同1億5200万円増)、受取手形及び売掛金の増加(同1億6000万円増)、電子記録債権の増加(同2億8600万円増)及び有形固定資産の増加(同1億6900万円増)等があったことによるものであります。

負債総額は、88億5900万円(前事業年度末比6億4800万円増)となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加(同3億9100万円増)、短期借入金の増加(同3億円増)等があったことによるものであります。

純資産は、114億8300万円(前事業年度末比4600万円減)となりました。これは主に、利益剰余金の減少(同4700万円減)等があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、今後も予想される厳しい景況感並びに不透明な原材料市況等を考慮して、平成30年5月11日の決算短信で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,465,600	2,617,834
受取手形及び売掛金	9,315,276	9,475,339
電子記録債権	1,554,346	1,840,817
商品及び製品	137,478	135,929
原材料及び貯蔵品	740,740	696,317
その他	208,428	92,681
貸倒引当金	△6,008	△6,248
流動資産合計	14,415,862	14,852,671
固定資産		
有形固定資産	3,949,340	4,118,841
無形固定資産	71,158	68,483
投資その他の資産		
その他	1,333,904	1,331,884
貸倒引当金	△28,833	△28,833
投資その他の資産合計	1,305,070	1,303,051
固定資産合計	5,325,568	5,490,376
資産合計	19,741,431	20,343,047
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,671,270	7,062,541
短期借入金	—	300,000
1年内償還予定の社債	70,000	70,000
1年内返済予定の長期借入金	119,500	97,750
未払法人税等	107,062	53,704
賞与引当金	134,300	67,815
その他	547,832	662,993
流動負債合計	7,649,965	8,314,804
固定負債		
社債	70,000	70,000
長期借入金	180,000	162,500
退職給付引当金	138,639	136,599
役員退職慰労引当金	159,025	162,100
その他	13,200	13,200
固定負債合計	560,864	544,399
負債合計	8,210,830	8,859,204

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	729,000	729,000
資本剰余金	675,537	675,537
利益剰余金	10,026,554	9,978,618
自己株式	△12,406	△12,406
株主資本合計	11,418,686	11,370,749
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	111,914	113,093
評価・換算差額等合計	111,914	113,093
純資産合計	11,530,600	11,483,843
負債純資産合計	19,741,431	20,343,047

(2) 四半期損益計算書

第 1 四半期累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 6 月 30日)	当第 1 四半期累計期間 (自 平成30年 4 月 1 日 至 平成30年 6 月 30日)
売上高	6,382,574	7,175,696
売上原価	5,360,681	6,252,494
売上総利益	1,021,893	923,202
販売費及び一般管理費	766,189	802,912
営業利益	255,703	120,290
営業外収益		
受取配当金	8,148	9,516
その他	5,284	4,709
営業外収益合計	13,432	14,225
営業外費用		
支払利息	871	557
手形売却損	1,753	801
その他	67	—
営業外費用合計	2,691	1,359
経常利益	266,444	133,156
特別利益		
固定資産売却益	—	50
特別利益合計	—	50
特別損失		
固定資産売却損	125	177
固定資産除却損	19,060	39
特別損失合計	19,186	216
税引前四半期純利益	247,257	132,990
法人税等	82,485	43,668
四半期純利益	164,772	89,321

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

当社の事業は、シンナー製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。